

2026年のAI・機械学習トレンド

Marp-MCP機能デモンストレーション

全17レイアウトを使用した包括的プレゼンテーション

2026年2月

本日のアジェンダ

- AI技術の進化 - AGIからフィジカルAIまで
- AIエージェントの段階的発展
- 2026年の主要トレンド
- 注目の新技術詳細
- 市場動向と統計データ
- 今後の展望とエキスパートの見解

AI技術の進化

AGIからフィジカルAIまで

AGIレース - 2つのアプローチ

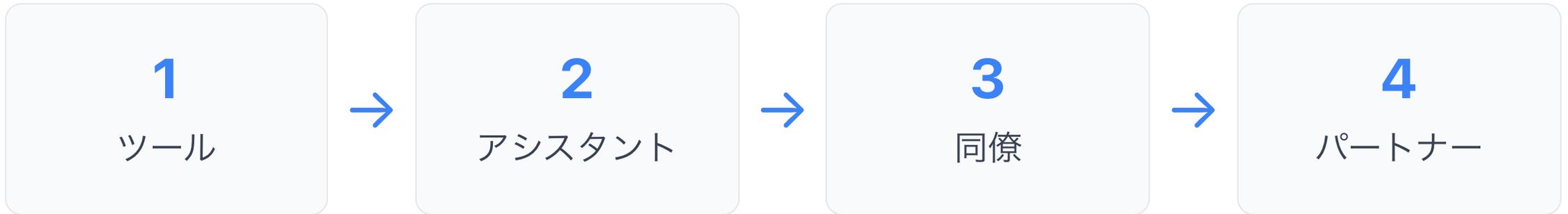
ChatGPT / OpenAIのアプローチ

- 大規模言語モデルの進化
- 推論能力の強化
- マルチモーダル統合
- o1/o3シリーズの開発

Googleのアプローチ

- Gemini 2.0の展開
- 検索との統合
- 量子コンピューティング活用
- 実世界タスクへの適用

AIの進化プロセス



2026年の主要AIトレンド



オンデバイスAI

プライバシー重視の端末処理



MCP

統一されたコンテキスト共有



量子AI

量子コンピューティングの活用



マルチモーダルAI

テキスト・画像・音声の統合



フィジカルAI

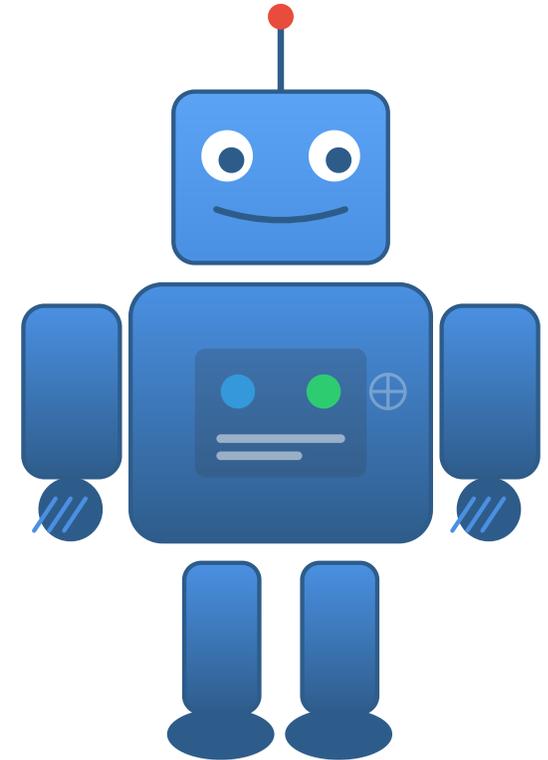
現実世界との相互作用

注目の新技術

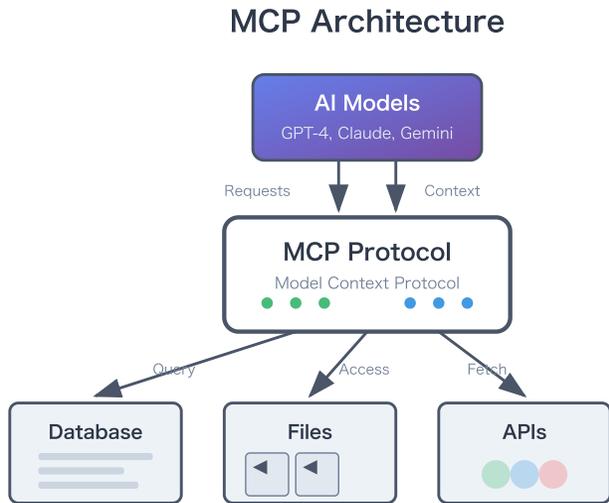
実用化が進む先端技術

フィジカルAI - 現実世界との連携

- 物理世界を理解し相互作用
- ロボット工学との統合
- リアルタイム環境認識
- 自律的な意思決定能力
- 製造業・物流での活用



MCP - Model Context Protocol



- AIとデータソースの統一接続
- コンテキストの効率的共有
- 拡張可能なプロトコル設計
- セキュアなデータアクセス
- 開発者エコシステムの拡大

主要AI技術の比較

技術	主な用途	メリット	デメリット
生成AI	コンテンツ作成	創造性・効率性	ハルシネーション
オンデバイスAI	端末処理	プライバシー・速度	性能制限
量子AI	複雑計算	超高速処理	コスト・安定性
フィジカルAI	ロボティクス	実世界対応	複雑性・安全性

各AI技術の特徴を理解し、適切な選択を

AI技術の発展タイムライン

- ◎ 2024年Q1 GPT-4とGeminiの競争激化
- ◎ 2024年Q4 オンデバイスAIの普及開始
- ◎ 2025年Q2 MCP 1.0リリース
- ◎ 2025年Q4 量子コンピューティングとAIの統合
- ◎ 2026年Q1 フィジカルAI実用化
- ◎ 2026年Q2 AGI研究の加速

市場動向と統計

数字で見るAIの成長

AIの成長を数字で見る

\$184B

世界AI市場規模 (2026)

67%

企業AI導入率

3.5倍

オンデバイスAI成長率

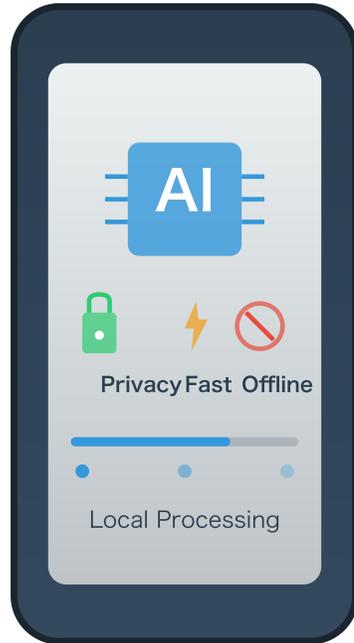
42%

コスト削減効果

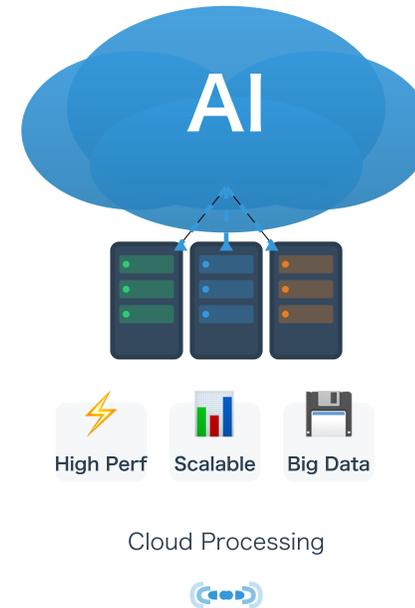
出典: 各種市場調査レポート (2026)

オンデバイスAI vs クラウドAI

オンデバイスAI



クラウドAI



オンデバイスAI: プライバシー・低レイテンシ

クラウドAI: 高性能・スケーラビリティ

AIの3つの主要領域

生成AI

テキスト、画像、音声、動画の生成。クリエイティブ業務やコンテンツ制作を支援。

予測AI

データ分析と将来予測。ビジネス意思決定やリスク管理に活用。

自律AI

自律的な行動と意思決定。ロボティクスや自動運転で実用化。

2026年のキーポイント

AIは「ツール」から「パートナー」へと進化。
オンデバイスAIとクラウドAIのハイブリッド利用が主流に。
フィジカルAIが現実世界での実用化を加速。

今後の展望

短期的展望 (2026-2027)

- AIエージェントが業務プロセスに深く統合
- マルチモーダルAIの精度が大幅向上
- プライバシー保護技術の確立

長期的展望 (2028-2030)

- AGIへの段階的アプローチが進展
- 量子AIが特定領域で実用化
- フィジカルAIが社会インフラの一部に

AIはもはや単なるツールではなく、私たちの同僚、そしてパートナーとして機能する時代が到来しています。

— Microsoft AI研究者 Ece Kamar

出典: Microsoft - What's next in AI

AIの未来



人間とAIが共存し、相互に補完し合う社会へ